

鹿児島県災害時小児周産期リエゾンについて

1 今年度の取組

(1) 災害時小児周産期リエゾンの養成・確保等

- ・ 昨年度策定した「県災害時小児周産期リエゾン養成計画」(参考資料2-9)に基づき、国主催の災害時小児周産期リエゾン養成研修の受講者を選定し、4名が受講。
- ・ 令和5年度の国養成研修受講者4名については、令和5年度末までに「鹿児島県災害時小児周産期リエゾン」(以下、「リエゾン」という。)として委嘱予定。
- ・ 昨年度策定した「県災害時小児周産期リエゾン運用計画」(参考資料2-3)に基づき、リエゾン所属医療機関とリエゾンの派遣に関する協定(参考資料2-7)を締結。

(2) 県災害時小児・周産期医療研修会の開催

目的

小児・周産期医療関係者の災害医療に対する知識の向上を図るとともに、災害発生時におけるEMIS(広域災害救急医療情報システム)・PEACE(日本産科婦人科学会大規模災害対策情報システム)の活用の重要性及びリエゾンの役割を周知する。

日時

令和5年6月9日(金) 18:30~20:30

場所

鹿児島県医師会館大ホール(※Web併用)

参加者

小児・周産期医療関係者 90名

内容

時 間	内 容 ・ 講 師 等
18:30~18:35	開会あいさつ 鹿児島県くらし保健福祉部子ども家庭課長
18:35~18:55	本県の災害医療の現状とEMIS入力的重要性について 鹿児島市立病院救命救急センター長 吉原秀明氏 (県災害医療コーディネーター)
18:55~19:35	小児周産期リエゾンの活動概要と近年の活動事例 九州大学小児救急センター助教 賀来典之氏 (日本小児科学会災害対策委員会副委員長)
19:35~20:15	PEACE入力的重要性について 久留米大学医学部産婦人科学教室 津田尚武氏 (日本産科婦人科学会災害対策・復興委員会委員)
20:15~20:30	本県の災害時小児周産期リエゾンの現状 鹿児島市立病院新生児内科医長 平川英司氏 (県リエゾン, 国リエゾン養成研修講師)

(3) 県災害時小児周産期リエゾン技能維持訓練の実施

目的

先進県事例の講習や本県における災害発生時を想定した演習訓練を実施することにより、リエゾンの知識及び技能の向上を図る。

日時

令和5年6月10日(土) 9:00~13:00

場所

県庁会議室7-A-2

参加者

リエゾン 14名

災害医療コーディネーター等 7名

内容

時 間	内容・講師等
9:00~9:05	開会あいさつ 鹿児島県くらし保健福祉部子ども家庭課長
9:05~9:35	高知県における南海トラフ巨大地震を含めた災害対策 高知県・高知市病院企業団立高知医療センター 産科医長 渡邊理史氏 (高知県リエゾン)
9:35~13:00	災害図上訓練 (DIG), 演習, ふりかえり ※ 災害図上訓練 (Disaster Imagination Game) とは, 大きな地図をみんなで囲み, 経験したことの無い災害を イメージして地域の課題を発見し, 災害対応や事前の対 策などを検討するための手法の一つ 【災害想定】 ・ 6月9日午後6時, 鹿児島湾を震源とする最大震度7の地 震が発生。 ・ 鹿児島市では最大波高3.2mの津波が発生。 ・ 同日, 鹿児島県では県庁に災害対策本部を設置。 同時に, 保健医療福祉調整本部を設置。

リエゾンからの意見, 感想等 (実施後)

- ・ 調整本部が設置された場合の動きやPEACEやEMISによる情報収集の仕方など基本部分の確認ができ良かった。
- ・ 1回の訓練では定着が難しいため, 継続するとともに, アクションカードを作成するなど, 忘れてもすぐに思い出せるような仕組み作りが必要ではないか。
- ・ 回を重ねる中で, 調整本部立ち上げなどの基本部分だけではなく, 受入側を想定した訓練など, 今後内容を検討していく必要がある。

(4) 大規模災害対策情報システム（PEACE）入力訓練の実施

目的

災害時において、県内の分娩取扱医療機関が確実に被災状況を「大規模災害対策情報システム（以下「PEACE」という。）」へ入力することにより、県災害対策本部が迅速に県内の被災状況を把握し、的確な支援を行う体制の確立を目的として訓練を実施する。

日時

令和5年12月5日（火）18:00～20:00

参加機関等

分娩取扱医療機関 31施設 ※県内全分娩取扱医療機関（37施設）へ通知
リエゾン 11名

開催方法

Web会議形式（一部リエゾンは県庁に集合）

実施内容

① 事前準備

- ・ 災害時の連絡体制を構築するため、県内の全分娩取扱医療機関とリエゾン、子ども家庭課等で構成するLINEWORKS（情報共有ツール）グループを作成。
- ・ 分娩取扱医療機関は、訓練日までにPEACEの情報を最新に更新。

② 訓練当日

リエゾンから、PEACEの入力状況や活用方法等について医療機関へ説明。

【主な説明事項】

- ・ PEACE入力結果確認
- ・ PEACEの概要
- ・ 発災時のPEACE入力のポイント

医療機関からの意見、感想等（実施後）

- ・ 災害時に入力ができるよう、平時から入力の癖をつけておく必要があると思う。
- ・ 緊急時に院内に担当者がいるとは限らないため、日々の業務に組み込み誰でも入力ができるよう、周知したい。

(5) 令和5年度鹿児島県・熊本県国民保護共同実動・図上訓練への参加

目的

国民保護訓練において保健医療福祉調整本部を設置する機会を活用し、調整本部内におけるDMAT等との連携体制を構築するため訓練へ参加する。

日時

令和6年1月21日（日）9:00～12:30

場所

県庁6階大会議室

参加者

リエゾン（2名）、災害医療コーディネーター、DMAT、DPAT 等

内容

- ・ 某国と日本間の関係悪化により政府が武力攻撃予測事態に認定し、国民保護措置として屋久島町全域を島外避難とする避難措置指示等がなされたとの想定のもと、図上及び実動での訓練を実施。
- ・ 口永良部島からの避難のため乗船を開始した住民のうち、妊娠7か月の妊婦が切迫早産疑いで急病搬送の必要があるとの状況付与がなされ、リエゾンは災害医療コーディネーター等と連携しながら、搬送先や搬送方法について調整を行った。

(6) 鹿児島県災害児小児周産期リエゾンの運用に係る意見交換会の開催（予定）

開催日時

令和6年2月14日（水）18：30～

構成員

リエゾン，災害医療コーディネーター，看護師・助産師 等

内容（案）

- ・ 令和5年度の実施内容について（報告）
- ・ 令和6年度の訓練等実施計画について（意見交換）
- ・ 「県災害時小児周産期リエゾン運用計画」の見直しについて 等

2 来年度の実施（予定）

(1) 災害児小児周産期リエゾンの養成・確保等

- ・ リエゾン養成計画に基づき，地域や診療科のバランスを考慮しながら国養成研修受講者を決定する。
- ・ 令和5年度の委嘱や異動により，新たにリエゾンが所属する医療機関とリエゾンの派遣に関する協定を締結する。

(2) 訓練等の実施

- ・ 県災害時小児・周産期医療研修会の開催
- ・ 県災害時小児周産期リエゾン技能維持訓練の実施
- ・ PEACE入力訓練の実施
- ・ 県総合防災訓練及び九州・沖縄ブロックDMAT実動訓練への参加

(3) 鹿児島県災害児小児周産期リエゾンの運用に係る意見交換会の開催